

Ⅲ 申告書の記入例

1 償却資産申告書

〈用紙・様式について〉

- ① 申告用紙は複写式ではなく単票です。必要に応じて控えをお取りください。
- ② 長岡市から送付した申告書以外で申告される場合（e L T A X含む。）は、送付した申告書に記載の所有者コードを転記してください。

- 1, 2 所有者の住所・氏名
- ・法人は法人の住所を、個人の場合は住民登録の住所を記入してください。
 - ・方書（ビル名等）がある場合は、具体的に記入してください。
 - ・代表者の氏名を記入してください。
 - ・変更があった場合は、訂正してください。（なお、本店所在地を変更された場合は、法人登記簿の写しを添付してください。）

- 前年前に取得したもの（イ）
- ・令和3年1月1日現在の償却資産の取得価額の合計を種類別に記入してあります。
 - ・今回初めて申告される方は、令和3年1月1日以前に取得した資産の取得価額の合計を種類別に記入してください。

- 前年中に減少したもの（ロ）
- ・令和3年1月2日から令和4年1月1日までに減少した資産の取得価額の合計を種類別に記入してください。

- 前年中に取得したもの（ハ）
- ・令和3年1月2日から令和4年1月1日までに取得した資産の取得価額の合計を種類別に記入してください。

- 計（ニ）
- ・令和4年1月1日現在の償却資産の取得価額の合計を種類別に記入してください。

受付印		令和4年/月/日 新潟県長岡市長 様		令和4年度 償却資産申告書（償却資産課税台帳） 0401		※所有者コード 0000000123	
所有者	1 住所 (ふりがな) 又は納税通知書送達先	〒940-0851 長岡市大手通1丁目4番地10 (電話 0258-39-2213)			3 個人番号又は法人番号	1234567890123	
	2 氏名 (ふりがな) 法人にあってはその名称及び代表者の氏名	長岡アオーレ株式会社 代表取締役 長岡太郎 (屋号 ハローナガオカ)			4 事業種目 (資本等の金額)	精密機械製造 (230 百万円)	
				5 事業開始年月	昭和60年4月		
				6 この申告に回答する者の係及び氏名	経理 甲野一男 (電話 0258-39-2213)		
				7 税理士等の氏名	税理士 藤田太郎 (電話 0258-35-1122)		
				8 短縮耐用年数の承認	有・無		
				9 増加償却の届出	有・無		
			10 非課税該当資産	有・無			
			11 課税標準の特例	有・無			
			12 特別償却又は圧縮記帳	有・無			
			13 税務会計上の償却方法	定率法 定額法			
			14 青色申告	有・無			
資産の種類		取 得 価 額				15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地	
		前年前に取得したもの（イ）	前年中に減少したもの（ロ）	前年中に取得したもの（ハ）	計((イ)-(ロ)+(ハ)) (ニ)		① 大手通1丁目4-10 ② 長岡788番地 ③ 金町2丁目1-5 ④ 東川1974番地26
1	構築物	12,575,410			12,575,410		16 借用資産 貸主の名称等 越後銀行リース株式会社 エレベーター、FAX
2	機械及び装置	72,445,000	1,203,000	7,200,000	78,448,000		
3	船舶						
4	航空機						
5	車両及び運搬具	3,666,000	942,000		2,724,000		17 事業所用家屋の所有区分 自己所有・借家
6	工具、器具及び備品	850,970	123,030		727,940		
7	合計	89,537,380	2,268,030	7,200,000	94,469,350		18 備考（添付書類等） ※該当する項目に○をつけてください。 1. 資産増減あり 2. 資産増減なし 3. 該当資産なし 4. 廃業・解散・転出等（ 年 月 日）
資産の種類		※ 評価額 (ホ)		※ 決定価格 (ヘ)		※ 課税標準額 (ト)	
1	構築物						
2	機械及び装置						
3	船舶						
4	航空機						
5	車両及び運搬具						
6	工具、器具及び備品						
7	合計						
		記入の必要は ありません				申告処理 データ入力 事務処理	
						済 未 済 未 K N T	

- 6 この申告に回答する者の係及び氏名
- ・申告書の内容についての問い合わせ先となる方の部署、氏名、電話番号（日中の連絡先）を記入してください。

- 7 税理士等の氏名
- ・この申告書を税理士等が作成した場合は、その所属組織、氏名（担当者名）、電話番号を記入してください。

- 15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地
- ・長岡市内の所在地が2か所以上ある場合は、それぞれの所在地を記入し、その主たる所在地の番号を○で囲んでください。

- 16 借用資産
- ・借用資産の有無について該当するものを○で囲んでください。なお、借用資産がある場合は、貸主の名称を記入してください。（ただし、不動産、自動車を除く。）

- 18 備考（添付書類等）
- 次のような事項を記入してください。
- ・該当する項目を○で囲んでください。
 - ・令和4年1月1日以前に廃業・解散・転出等により事業を行わなくなった場合は、「4. 廃業・解散・転出等」の該当区分を○で囲み、年月日を記入
 - ・令和3年中に所有者の住所、氏名、名称等に異動があった場合は、異動年月日及び旧住所、旧氏名、旧名称等参考となる事項
 - ・非課税、特例に該当する資産を所有している場合は、その適用条項
 - ・その他、この申告に必要な事項及び償却資産の評価について参考となる事項

2 種類別明細書

- ・この明細書は、これまでに申告のあった資産を印字したものです。
- ・加除訂正は赤ボールペンを使用してください。

(1) 訂正

										1234					
				所有者コード		令和4年度 種類別明細書(増加資産・全資産用)						所有者名		5枚のうち	
				0000000123								長岡アオーレ株式会社		4枚目	
異動区分			資産種類※1	資産コード	事業所 資産番号	資産の名称等	数量	取得年月	取得価額	耐用 年数	課税標準の特例		増減事由 ※2	減少 区分 ※3	摘 要
増 加	訂 正	減 少									率	コード			
1	2	3	2	14		フライス盤	1	H 9. 5	2,640,000	10			1・2・3・4	1・2	名称の誤り
1	2	3	2	17		フライス盤	2 1	H10. 11	20,000,000	10			1・2・3・4	1・2	数量の誤り
1	2	3	2	20		旋盤	1	H16. 6	12,000,000	10 12			1・2・3・4	1・2	法改正 H21年からの適用
1	2	3	6	32		パソコン	10	H28. 4	2,000,000	4 5			1・2・3・4	1・2	耐用年数の誤り (当初から)

印字されている名称、数値等に訂正がある場合は、異動区分欄の番号2を○で囲み、訂正箇所に見え消し線を引き、その上に正しい名称、数値等を記入し、訂正した理由、年月日等を摘要欄に記入してください。

※耐用年数について

- ・申告した当初からの記入誤りを訂正する場合は、印字されている耐用年数に見え消し線を引き、その上に正しい年数を記入してください。
- ・省令改正により耐用年数を途中で変更した場合は、変更後の耐用年数を記入し、摘要欄に「法改正による変更」と記入してください。

(2) 減少

(全部減少・一部減少)

1	2	3	2	7			旋盤	1	H10. 6	680,000	10			1・2・3・4	1・2	令和3年11月30日 新機械へ移動
1	2	3	2	24			フライス盤	1	H11. 5	21,000,000	10			1・2・3・4	1・2	令和3年8月2日 新機械へ移動
1	2	3	2	25			溶接機	4	H11. 5	1,360,000 1,700,000	10			1・2・3・4	1・2	令和3年3月5日 売却
1	2	3	2	36			マシニングセンター	1	H18. 1	9,100,000 9,400,000	10			1・2・3・4	1・2	令和3年2月 一部売却

【全部減少】 異動区分欄の番号3（減少）を○で囲み、その理由、年月日等を摘要欄に記入してください。

【一部減少】 異動区分欄の番号2（訂正）を○で囲み、訂正箇所に見え消し線を引き、その上に減少後の数値等を記入し、減少した理由、年月日等を摘要欄に記入してください。

電子申告（eLTAX）の場合

①今回送付された種類別明細書の「資産コード」を電子申告の種類別明細書の「資産コード」欄へ、減少の場合は「抹消コード」欄へ必ず入力してください。

②修正した資産及び特例該当資産については、摘要欄に「金額訂正」「取得年月訂正」「耐用年数訂正」や「特例税法第〇条第〇項」等を必ず入力してください。

増減事由欄の該当する番号を○で囲んでください。

(減少資産)

- 1 売却
- 2 滅失
- 3 企業内移動
- 4 その他

減少区分欄の該当する番号を○で囲んでください。

(減少資産)

- 1 全部
- 2 一部

(3) 増加

1	2	3	1				駐車場アスファルト舗装	1	R3. 4	3,234,000	10			1・2・3・4	1・2	
1	2	3	2				油圧プレス機	1	R3. 5	5,836,000	2			1・2・3・4	1・2	中古取得
1	2	3	6				エアコンター	3	H23. 10	480,000	6			1・2・3・4	1・2	令和3年11月30日 新機械へ移動
1	2	3	6				テレビ	1	R2. 12	210,000	5			1・2・3・4	1・2	申告漏れ
1	2	3	6				絵画	1	H20. 3	850,000	8			1・2・3・4	1・2	美術品通達改正 平成22年度申告漏れ
1	2	3	2				太陽光発電装置	1	R3. 3	12,000,000	17			1・2・3・4	1・2	特例該当

- 資産が増加した場合は、異動区分欄の番号1を○で囲んでください。
- 種類区分の1～6（1頁参照）までの番号を記入してください。
- 資産コードは長岡市の整理用ですので、記入しないでください。
- 事業所で独自の番号を付している必要の場合の記入は、英数字8桁以内にしてください。
- ・資産を取得（購入、製作）した年月を記入してください。
・年号は以下のとおりです。
S 昭和 H 平成
R 令和
- ・資産を取得するために要した金額（引取運賃、荷役費、手数料等を含む。）を記入してください。
・圧縮記帳されている資産は、圧縮前の実際の取得価額を記入してください。
・改良費等の支出は、本体と区分して記入してください。
- 減価償却資産の耐用年数に関する省令（財務省令）に掲げる耐用年数を記入してください。
- ・課税標準の特例がある資産については、「特例該当」と記入してください。
・その他当該資産の価格の決定にあたって必要な事項があれば記入してください。